

ローカルルールひな型 M-4の適用—車輪付き移動器具を使用するプレーヤーのための  
バンカー内の球の限られた救済

この文書の中のシナリオはローカルルールひな型 M-4を適用している場合に、プレーヤーが救済を受けることができる場合とできない場合の事例を示しています。

- 1) 状況：プレーヤーの球はバンカー内の平らな場所に止まったが、そのバンカーの大きさや形状を考慮すると、そのプレーヤーは自分の車輪付き移動器具でそのバンカーの中に入っていくこと、あるいはスタンスをとるためにその球に十分に近づくことができなかった。

ローカルルールひな型の適用：その球をあるがままの状態プレーすることが不可能である唯一の理由は車輪付き移動器具のせいであったので、例外は適用されずに救済は認められる。しかし、そのプレーヤーが不合理な努力なしにスタンスをとるためにその球を位置させることができる箇所がそのバンカー内になかった場合、罰なしの救済は認められず、そのプレーヤーはその球をあるがままの状態プレーするか、アンプレヤブルの救済（座ってプレーするプレーヤーについては1罰打）を受けなければならない。

- 2) 状況：プレーヤーの球は、スタンスをとってホールの方向にプレーすることが可能なバンカー内のある箇所に止まっていた。しかし、プレーヤーはホールの方向にプレーしてバンカーの上方の高い面を超えることができるとは思わなかったため、横に出すプレーのためのスタンスをとることを試みたところ、傾斜のせいで横に出すプレー方向にショットするためのスタンスをとることは不可能であると判断した。

ローカルルールひな型の適用：そのプレーヤーはホールに向けてプレーするためのスタンスをとることが可能であったとしても、それはそのプレーヤーの意図するプレーの方向ではなかった。意図するプレーの方向は横に出すことであり、そのプレーヤーはそのバンカーの急な壁面を超えることができるとは思わなかったため、それは明らかに不合理ではなかった。その（横に出す）プレーの方向に基づき救済は認められ、救済を受けた後でそのプレーヤーはどの方向へもプレーすることができ、それは新しい状況となるので、さらなる救済を受けることができる結果となるかもしれない。

- 3) 状況：プレーヤーの球はグリーンサイドバンカーの上り坂のよいライ（埋まっていない）に止まっており、そのプレーヤーはグリーンに向けてプレーしたいと思っていた。

ローカルルールひな型の適用：例外は適用されない。そのプレーヤーがスタンスをとるために車輪付き移動器具でその傾斜を上って行くことができないのであれば、救済は認められる。そのプレーヤーが不合理な努力なしに車輪付き移動器具でその傾斜を上って行くことができるならば、救済は認められない。

- 4) 状況：プレーヤーの球は、傾斜がきつすぎて車輪付き移動器具でその場所に上って行くことができないバンカーの急斜面に埋まって止まっていた。

ローカルルールひな型の適用：罰なしの救済は認められないかもしれない。その球をあるがままの状態プレーすることが不可能であるのは、そのプレーヤーが座った位置から各ストロークを行わなければならないという理由によってのみであるかどうかを判断する必要がある。それが当てはまる場合、そのプレーヤーはこのローカルルールに基づいて罰なしの救済を受ける

- 5) 状況：プレーヤーの球は、スタンスをとってホールの方向にプレーしてバンカーの低い縁を超えるショットをすることが可能なバンカー内のある箇所には止まっていた。しかし、そのプレーヤーが横に出すストロークをする場合、車輪付き移動器具はスタンスをとるために不合理な努力が必要となる急斜面の上となっていた。

ローカルルールひな型の適用」そのプレーヤーは明らかに不合理なプレーの方向を選んでおり、そのプレーヤーは罰なしの救済を受けることができる状況を作り出すために横に出すプレーを試みているので、罰なしの救済を受けることは認められない。

- 6) 状況：プレーヤーの球は、高い打ち出し角でそのバンカーの縁を超えるショットを打つ必要があるグリーンサイドバンカー内の平らな場所に止まったが、車輪付き移動器具を位置させるのはそのバンカーの傾斜が次第に始まる場所となり、そのプレーヤーは8番アイアンを手にしてスタンスをとることがいかに不可能であるのかをあなたに示した。

ローカルルールひな型の適用：その球はグリーンサイドバンカー内にあるので、8番アイアンは明らかに不合理なクラブ選択である。車輪付き移動器具を8番アイアンについて位置させるために傾斜を上らせることができないという理由でスタンスをとることが不可能な場合、救済は認められない。しかし、（プレーヤーがそのショット打つために使用する妥当なクラブと推定する）サンドウエッジについてもスタンスをとることができない場合、そのサンドウエッジに基づく基点で救済が認められる。